

ましこ に すむ

益子町への交通アクセス



子育て・教育

保育・子育てサポート

保育園や認定こども園では、働く親をサポートする延長保育や一時保育のほか、和太鼓演奏やネイティブの先生と学ぶ英語など家庭ではできない様々な体験を用意しています。子ども子育て支援拠点施設「ましこココハウス」では、屋内遊びや子育て相談などが可能です。

健康・教育

18歳まで医療費は無料。医療機関での病児・病後児保育サービスもあります。小中学生を対象とした自然・創作などの体験学習、小学校1年生からの英語学習、国際交流事業などで、考える力や豊かな人間性、国際感覚と郷土愛を持った子どもの育成に力を入れています。

栃木県内初！

0歳から
保育料
無償化

待機児童
0



子育てガイドブック



出産育児一時金
支給あり

第二子以降
副食費
(おかず・おやつ代)
免除

仕事

就職・転職

栃木県内の求人やイベント情報など、就職活動に役立つ情報を一括で収集できる就職支援サイト「WORK WORK とちぎ」や総合的就労支援機関「とちぎジョブモール」をチェック。

起業

益子町で事業を新しく始められる方には、支援金制度や相談窓口があります。

新規起業
準備補助金

事業所
賃借料
補助金

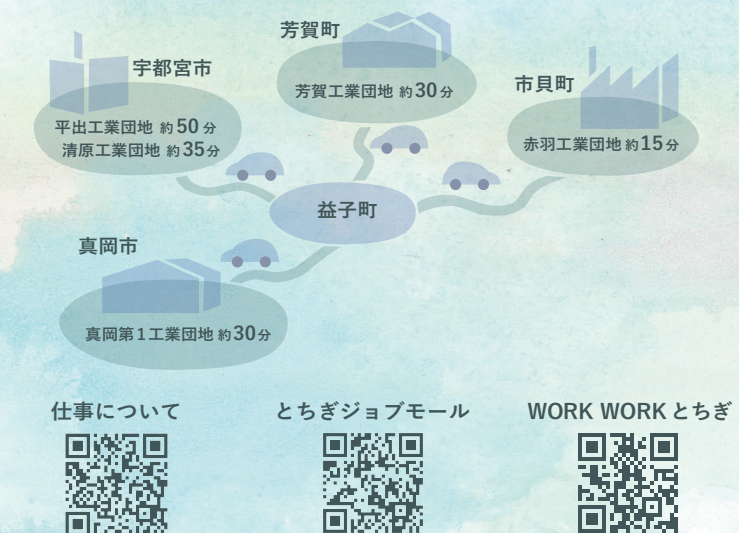
地場産業
育成補助金
・陶芸家補助
・ふるさと納税
協力事業者補助

栃木県
地域課題解決型
創業支援
補助金

就農

益子町の農業の担い手や支え手となることを目的とした「ましこ農の学校」。老若男女問わず、新規就農、半農半Xといった農あるライフスタイルを目指す方々を対象とし、交流しながら週末に本格的な野菜栽培の技術・知識の基礎を学べます。

近隣市町の工業団地などへスムーズに通動



住まい

空き家・空き地バンク

空き家・空き地バンクに登録された賃貸・売買物件は、益子町のHPで公開しております。移住希望者などに住みたいエリアや条件をお伺いしながら移住相談員が空き家・空き地をご紹介します。



住まいの支援

東京23区在住又は東京圏から東京23区内へ通勤していた方が益子町に移住し、対象となる求人への就職や起業など条件を満たした場合に、移住支援金を支給します。また、若年子育て世帯の家賃補助や若者の新築・建売住宅購入時に奨励金を支給するなど経済的に支援します。

移住支援金
単身
or
世帯+子ども加算

若年
子育て世帯
家賃補助金

1ヶ月あたりの
平均家賃
約4万円

若者定住促進
住まいづくり
奨励金

栃木県益子町は北から連なる八溝山地と関東平野が
出会うところに位置しています。
初めて訪れる人にもどこか懐かしさを感じさせ、
四季折々の表情を見せる里地・里山では、
陶芸や工芸、農業を中心に、土地の風土に根ざした
生業と暮らしが営まれています。

ひと

人口約2万1,000人
(約7,900世帯)
が暮らすほどよい規模の町。
陶芸を志す移住者を昔から
受け入れており、開放的で
自由な空気に満ちた
土地柄です。

気候

真夏は最高気温36℃以上、
真冬は最低気温-6℃以下に
なることもあります。が、
降雪は年に2~3回程度で、
一年を通して
過ごしやすい気候です。



暮らし



家まつわる比較

	栃木県	東京都
賃貸家賃	4万4,953円	8万1,001円
持ち家比率	69.1%	45.0%
戸建て建設費	3,383万円	4,352万円
一住宅あたりの延べ床面積	106.54㎡	65.90㎡

【出典】平成30年住宅・土地統計調査(総務省)
令和4年度フラット35利用者調査(住宅金融支援機構)

働く時間にまつわる比較

	栃木県	東京都
通勤時間(往復)	56分	72分
帰宅時間	18:33	19:15

【出典】令和3年社会生活基本調査(総務省統計局)

移住体験・お問い合わせ窓口

お試し住宅

まちの様子を知り、暮らしを実際に体験して
いただく機会を提供するための一定期間滞在
用のお試し住宅をぜひご利用ください。

益子町移住・定住
ワンストップサイト



オーダーメイドツアー

益子町への移住を検討している方のために、
あなたのニーズに沿ったオーダーメイド型の
町内ツアーを無料で企画いたします。

益子町公式LINE



移住サポートセンター (道の駅ましこ)

TEL 0285-72-5530
FAX 0285-72-5531
Mail iju@m-mashiko.com
住所 益子町大字長堤2271番地
受付時間 9:00~17:30
定休日 毎月第二火曜日
12/29~1/3

益子町 総合政策課

移住・定住に関する様々なこと、
お気軽にご相談ください。
TEL 0285-72-8828 FAX 0285-72-7601
Mail iju@town.mashiko.lg.jp
住所 益子町大字益子2030番地
受付時間 平日 8:30~17:15

ましこをつむぐひと



陶芸家のスタイルが心地よい

「益子の空気感には、お金じゃない豊かさがあります」

益古時計・観光協会専務理事 神田 智規さん

移住 起業
地域との関わり

「時代の空気感には、お金じゃない豊かさがあります」



「益子の空気感には、お金じゃない豊かさがあります」



どの内装に焼き物を取り入れ... 壁に漆喰を塗る作業も 陶芸家の方々が手伝ってくれたそうです。

Midnight Breakfast 早瀬 友貴さん

起業 移住
地域との関わり



個人で事業をしている人が多く「自分もできる」と思える

「はやび」こと早瀬友貴さんは、気持ちのいい一日のスタートを切れる店「Midnight Breakfast」の店主。出身は益子町のお隣真岡市ですが、幼い頃から海外に興味があり、アメリカ留学や台湾でのワーキングホリデーを経験しています。そのせいか、どこか自由な雰囲気を持ち主です。



糖、栃木県産の小麦粉を使用しており、パンは、かつてまちで愛されていたパン屋からレシピを受け継ぎました。営業時間は朝7時から昼12時まで。その時間帯ではお客さんが来ないので、心配もありませんが、早瀬さんは「自分が好きな朝に働くことで、いいサービスを提供できる」と、自分らしさを大切にしました。いざ営業を始めると、地元の人はもちろん町外からもSNSなどを見たら人が訪れ、賑わう店に。カウンターに立つ早瀬さんは、お客さんとフラフラに話し、お客さん同士が友達になることもあるとか。

「益子は面白いし、まちの人がいい。益子のよさをもっと知ってもらえる場を、これからもつくっていきたいです」



昔の陶工はつくりやすい

大塚さんも、そんな焼き物づくりを追い求めているのですが、「なかなか難しいですね」と道は続きます。

ブルーベリーと里山と 金子 幸代さん 太さん

移住 就農
子育て



家族の時間を叶えるために
サラリーマンから農家へ

東京で働きながら子育てをしていた金子幸代さんと太さんは、脱サラをし、農業で起業するために益子町に移住しました。幸代さんはかつての生活をこう振り返ります。



親身になって協力してくれたのが、益子町役場の職員でした。「窓口の人が、『僕も』生懸命農地を探します』と言ってくれたんです。農業で起業して、移住するならここがいいと思いました」

「子どもは、気持ちにゆとりができて、子どもと接する時間が増えました」と太さん。以前よりずっとポジティブに働けているそうです。また、子育てもしやすくなったと二人は感じています。保育園が0歳から無償で、園庭や公園などお子さんが思い切り走り回れる場所が多いのも、ありがたいとか。なにより、家族の時間を十分に満喫して、親自身が幸せなことが、お子さんにとってもいいはず。

益子育ち 陶芸 地域活動

大誠窯 7代目 おおつか せいいち 大塚 誠一さん



「時代が進んでガスや電気窯が出てきて、薪の窯でないと出せない味があるんですよ」

「いまも益子には外から来た人が多いです。写真家やDJ、古道具屋...いろいろな人がいて、いろいろなコミュニティがあるって面白い」

子育て 移住 起業 夫の通勤

たね書房 たなか ゆかり 田中 裕香里さん



いい原体験になるように
種をまくように絵本を手渡す

「東京や大阪の民藝館でよく手伝いを... 実感を伴ってよさがわかるようになってきました。人間というものを超えてくような、すごい存在感のあるものを、

里山 益子育ち 地域活動

里山保全活動家 とこい ひでお 床井 秀夫さん



「神社というのは、人々の心のよりどころです。この場所も同じように、訪れた人が心安らげるようにしたい」と、15年以上かけてきれいにしています。大変な作業で、途中でくじけそうになりましたが、いまでは達成感があります」



「戦後生まれの人はみんなそうです。物もお金もない時代、子どものときからなんでも自分でつくったものです」

ましこにすむ

2024年3月発行
発行=益子町
〒321-4293
栃木県芳賀郡益子町大字益子2030番地
TEL 0285-72-8828
FAX 0285-72-7601
制作=株式会社良品計画
取材・文=吉田 真緒
イラストレーション=クボタノブエ
写真=黒崎 健一